

申請書の記入方法について

捨印

捨印

様式例第1号の1

農地法第3条の規定による許可申請書

平成〇〇年〇〇月〇〇日

高森町農業委員長 様

<譲渡人> ※売る人・貸す人について
氏名 自筆で記入する ㊟

<譲受人> ※買う人・借りる人について
氏名 自筆で記入する ㊟

下記農地(採草放牧地)について、(**所有権** ・ 賃借権 ・ 使用貸借権) を (**移転** ・ 設定) したいので、農地法第3条第1項に規定する許可を申請します。(該当する内容に○を付してください。)

今回の申請で行う、権利移動の種類を○で囲む

1 申請者の氏名等

申請者	氏名	年齢	職業	住所	連絡先
譲渡人				※必要事項を記入してください	
譲受人				※必要事項を記入してください	

2 許可を受けようとする土地の所在等

所在・地番	地目		面積(m ²)	利用状況	所有者の氏名又は名称	使用収益権の設定		備考
	登記簿	現況				権利の種類	氏名又は名称	
牛牧〇〇〇-〇〇	畑	畑	756	りんご	高森 太郎			※現在、貸し借りの関係が有る場合に記入する。
牛牧〇〇〇-〇〇	畑	畑	557	梨	高森 太郎			
計			1,313					

3 権利を設定し又は移転しようとする事由の詳細

譲渡人(賃貸人) ※理由を記入する。

譲受人(賃借人) ※理由を記入する。

4 権利を設定し、又は移転しようとする契約の内容

契約予定年月日 平成 〇〇年 〇月 〇〇日

土地引渡予定年月日 平成 〇〇年 〇月 〇〇日

対価、賃料等の額 (総額) 1,313,000円、(10a当りの額) 1,000,000円

契約期間(賃貸借等) 年(平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日)

許可日後の契約、土地引渡しを計画してください。

農地法第3条の規定による許可申請書(別添)

1-1 権利を取得しようとする者又はその世帯員等が所有権等を有する農地及び採草放牧地の利用の状況

(1) (現に耕作されている土地)

※農地を買う・借りる人が所有している農地のうち、自分で栽培している作物と面積を記入する。

所有地	作付作物	農地面積(m ²)	田	畑	樹園地	採草放牧地	
			面積(m ²)	面積(m ²)	面積(m ²)	面積(m ²)	
自作地	作付作物		水稻	アスパラガス	りんご	梨	
貸付地	面積(m ²)	10,342	2,159	292	6,891	2,265	
※農地を買う・借りる人が所有している農地のうち、人に貸している面積を記入する。							
		所在・地番		地目 登記簿 現況		面積	状況・理由
非耕作地							※農地を買う・借りる人が所有している農地のうち、耕作されていない面積を記入する。

所有地以外の土地	作付作物	農地面積(m ²)	田	畑	樹園地	採草放牧地	
			面積(m ²)	面積(m ²)	面積(m ²)	面積(m ²)	
借入地	作付作物				りんご		
貸付地	面積(m ²)	1,265			1,265		
※農地を買う・借りる人が、人から農地を借りて自分で栽培している作物と面積を記入する。							
		所在・地番		地目 登記簿 現況		面積(m ²)	状況・理由
非耕作地							

(記載要領)

1 「非耕作地」には、現に耕作又は養畜の事業に供されていないものについて、筆ごとに面積等を記載するとともに、その状況・理由として、自らの耕作又は養畜の事業に供することができない旨を詳細に記載してください。

(2) (取得しようとする土地) 作付予定作物、作物別の作付面積

作付予定作物	田	畑	樹園地	採草放牧地
	面積(m ²)	面積(m ²)	面積(m ²)	面積(m ²)
作付予定作物	※今回の申請で買う・借りる農地で栽培する作物と面積を記入する。		市田柿	
面積(m ²)			1,313	

1-2 権利を取得しようとする者又はその世帯員等の権利取得後における経営面積の状況

(1) 権利取得後において耕作の事業に供する農地・採草放牧地の面積の合計
 (権利を有する農地の面積+権利を取得しようとする農地の面積) = **12,920** (㎡)

2 そ **※買う・借りる人が、現在耕作している農地と、今回の申請で買う・借りる農地を合計した面積。(前ページの(1)①+(1)③+(2)の面積)**

3 権利を取得しようとする者又はその世帯員等が、その耕作又は養畜の事業に従事している状況及びその労働力以外の労働力に依存している状況 (権利を取得しようとする者が個人である場合。)

(1) 耕作又は養畜の事業に従事している状況及びその労働力以外の労働力に依存している状況

区分	氏名	年齢	性別	権利取得者との続柄	主たる職業	農作業従事日数		経験年数	備考
						実績	予定		
世帯員 構成員	市田 次郎	45	男	本人	農業	230	250	25	
	市田 花子	40	女	妻	会社員	60	70	20	
	市田 空子	75	女	母	農業	100	100	50	
常雇									
季節雇・臨時雇		年間延人数 (現在)		10	人	(予定)		20	人

※1年間に農作業を行っている日数を記入。予定は今後の見込み。

(2) ①～③の者の住所地、拠点となる場所等から権利を設定又は移転しようとする土地までの平均距離及び時間

○平均距離 **2** km

○平均時間 **10** 時間 (**分**)

○交通手段 **農機具** ・ 徒歩 ・ 自動車 ・ その他 ()

4 権利を取得しようとする者又はその世帯員等の機械及び家畜の所有の状況

種類	トラクター	コンバイン	田植機	SS	運搬車	
数量						
確保しているもの	1	1	1	1		
導入予定のもの (所有又はリース) (資金繰りについて)					1 所有 農協	

(記載要領)

1 「大農機具」とは、トラクター、耕うん機、自走式の田植機、コンバイン、スピードスプレヤー等です。

5 周辺地域との関係

権利取得後における耕作又は養畜の事業が、取得農地又は採草放牧地の周辺の農地又は採草放牧地の農業上の利用に及ぼすことが見込まれる影響を以下に記載してください。

(例えば、集落営農や経営体への集積等の取組への支障、農薬の使用方法の違いによる耕作又は養畜の事業への支障等について。)

記入例
 申請地周辺は野菜の産地となっているが、申請地では市田柿を栽培したい。農薬使用方法について隣接農家と協議したところ、使用農薬が異なるために影響が考えられることから、スピードスプレイヤーを用いず手散布する。周辺農家への説明については、地区担当農業委員が加わり説明会を実施し、理解が得られている。水利については、地元水利委員と調整を行った。
 ※地域との調整内容について具体的に記載してください。

6 地域との役割分担の状況

地域の農業における他の農業者との役割分担についての計画を具体的にに記載してください。

(例えば、農業の維持発展に関する話し合い活動、取り決めへの参加、農道、水路、ため池等の共同利用施設の取決めへの遵守、獣害被害対策への協力等について。)

記入例
 水利の取り決めについて遵守し、毎月第〇日曜日に実施する共同作業に協力することについて、地元水利委員会の確認が取れています。
 農道・ため池等の共同利用施設の維持管理等について協力し、地域行事に参加します。
 ※地域の取り決め内容・活動等について、具体的に記載してください。

7 その法人の業務を執行する役員のうち、その法人の行う耕作又は養畜の事業に常時従事する者の氏名及び役職名並びにその法人の行う耕作又は養畜の事業への従事状況 (権利取得者が法人の場合)

(1) 氏名 _____ (2) 役職名 _____

(3) その者の耕作又は養畜の事業への従事状況
 その法人が耕作又は養畜の事業 (労務管理や市場開拓等も含む。) を
 行う期間: _____ 年 _____ か月
 そのうちその者が当該事業に参画・関与している期間: _____ 年 _____ か月 (直近の実績)
 _____ 年 _____ か月 (見込み)

3 権利を取得しようとする者又はその世帯員等のその行う耕作又は養畜の事業に必要な農作業への
 従事状況（別紙）

※申請書3ページ、3(1)の世帯員ごとに記入してください

- (1) その行う耕作又は養畜の事業に必要な農作業へ常時従事している者の氏名 〇〇 〇〇
 (2) その者の農作業への従事状況（該当する期間（実績又は見込み）を「←→」で示してください。）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
申請人の農家等で年間に必要な農作業の期間	※申請される方の農家で、農作業が必要になる期間を←→で記入。											
この欄に記載された者が農作業に常時従事する期間	※右上の欄に書いた世帯員が、実際に行う農作業期間を、←→で記入。											

（「農作業に常時従事する期間」とは、その期間、必要な農作業（耕うん、播種、施肥、刈取り等）にいつでも従事できる状態にあることを

- いいます）
- (1) この欄に記入した世帯員が、農作業を行っている期間 〇〇 〇〇
 (2) その者の農作業への従事状況（該当する期間（実績又は見込み）を「←→」で示してください。）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
申請人の農家等で年間に必要な農作業の期間			←									→
この欄に記載された者が農作業に常時従事する期間			←		→				←			→

- (1) その行う耕作又は養畜の事業に必要な農作業へ常時従事している者の氏名 市田 次郎
 (2) その者の農作業への従事状況（該当する期間（実績又は見込み）を「←→」で示してください。）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
申請人の農家等で年間に必要な農作業の期間			←									→
この欄に記載された者が農作業に常時従事する期間			←									→

- (1) その行う耕作又は養畜の事業に必要な農作業へ常時従事している者の氏名 市田 花子
 (2) その者の農作業への従事状況（該当する期間（実績又は見込み）を「←→」で示してください。）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
申請人の農家等で年間に必要な農作業の期間			←									→
この欄に記載された者が農作業に常時従事する期間									←			→

- (1) その行う耕作又は養畜の事業に必要な農作業へ常時従事している者の氏名 市田 空子
 (2) その者の農作業への従事状況（該当する期間（実績又は見込み）を「←→」で示してください。）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
申請人の農家等で年間に必要な農作業の期間			←									→
この欄に記載された者が農作業に常時従事する期間			←		→							